

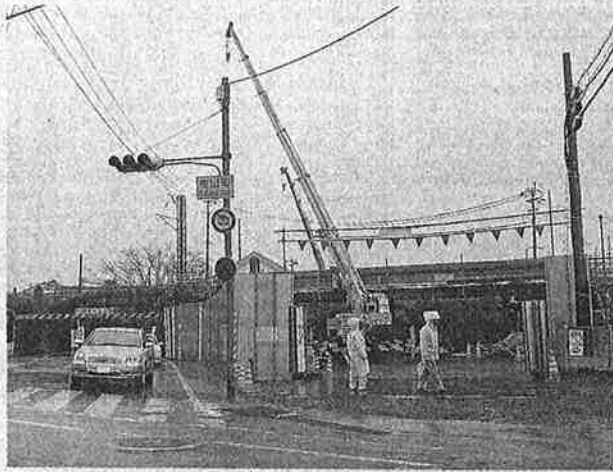
# 檜山町 ガード架け替え

## 延岡西環状線

### 鉄道関連のメイン工事 長出川橋梁

# 来年4月 周辺 の混雑解消に期待

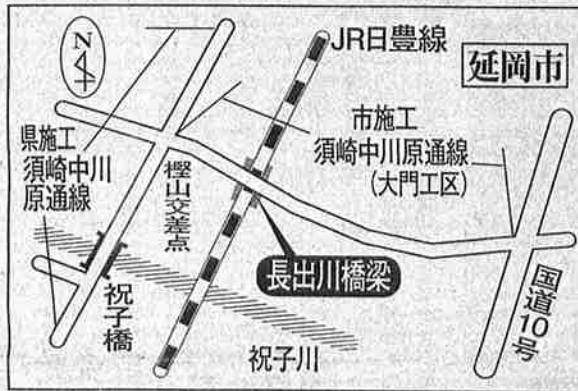
県と延岡市が重点的に整備している延岡西環状線のうち、鉄道関連のメイン工事となる檜山町のJＲ日豊線・長出川橋梁（ながいでがわきょうりょう）ガードの橋桁設置工事が完了した。ガード下を抜ける市道「西環状線の須崎・中川原通線（延長440㍍）」は来年4月に一部開通予定で、大型車両が通れるようになるほか、檜山交差点―国道10号間の混雑解消も期待される。



設置が完了した長出川橋梁。写真左側は現在のガード（延岡市檜山町）



JＲ日豊線・長出川橋梁の橋桁架け替え作業（1日深夜、延岡市檜山町）



長出川橋梁は、檜山交差点と大門町の国道10号を結ぶ須崎・中川原通線の改良・整備に伴って新しく建設。現在の檜山交差点と国道10号を結ぶ市道は、同橋梁北側にあるガード下を通っている

が、須崎・中川原通線は新しい橋梁下を通る。現在のガード下は歩道が無く、道幅0.8㍍、高さ3.2㍍規制で大型車は通れない。また、ガード東側は三差路のカーブもあり、時間帯によっては混雑がひどかった。新しい橋梁下は道路の幅員は17㍍で高さ制限はなくなる。

長出川橋梁は平成21年7月に着工。線路下の盛土内部に橋台と橋脚を造り、その上に工事用の橋桁を設置。さらに、線路と並行になるよう水平方向西側に鉄骨造りの工事ヤード（作業台）を建設した。別府町の国道10号から

須崎・中川原通線は来年4月に檜山交差点側から260㍍の区間が開通。大門町の国道10号まで、残る180㍍が平成25年4月に開通する予定となっている。

西環状線は国道10号の慢性的な渋滞緩和や延岡道路のアクセス向上を目的に整備が進んでおり、須崎中川原通線の都市計画3路線を環状線として機能させる。

西は、県道稲葉崎平原線に接続する愛宕通線に入り、古城町―大貫町―架設中の岡富橋（仮称）を経て富美山通線、さらに須崎・中川原通線に架かる祝子橋から檜山交差点、長出川橋梁でJＲ日豊線ガード下を通り、大門町の国道10号に至る。延長8.63㍍。

このうち、岡富橋は来年春に開通予定。富美山通線のうち、同橋北詰め―富美山町も24年度末には東西通行が可能となる見込み。